

ゆうゆうの郷

2017年8月 おにしか更生園 / 51号
ほっぷすてっぷ / 20号



お陰様で今回、ほっぷすてっぷ創刊20号目突入！おにしか更生園は51号目となりました。今後も皆さんの元へ素敵な便りを届けられる様に精進していきます！

今回の表紙は、何気ない日常の中にある笑顔や旅行、外出先、皆さんの楽しみにされている毎年恒例の行事での楽しい一時の写真です。



保護者会交流事業

海を眺めて昼食会

夏です！本格的な夏です！

当施設の夏の風物詩と言えは「海を見ながら昼食会」。

保護者会の会員交流事業として例年夏に開催されており、今年7月15日、利用者の方々、保護者の方々、職員、さらには当法人理事の秋野達雄氏や第三者委員の角谷ヒサ子氏にもゲストとしてご参加いただき、総勢220名での昼食会が行われました。



オープニングの当施設ヨサコイチームによる元気あふれる演舞を、楽しんであと、皆で一斉に

「いったただつきまゝす！」。

今年もメインメニューは、恒例のジンギスカン。濃い目の味付きジンギスカンにたっぷりの野菜とトウモロ

コシやうどんを混ぜ豪快に焼きました。サイドメニューも豪華。



ほっぷすてつぷ特製の肉汁たっぷりハンバーグは鉄板でジューシーに、水揚げされたばかりの新鮮なホタテ、エビ、ホッケは炭火でじっくりと焼き上げ、さらには愛情こもった手作り焼きそばにデザートのスイカや焼き菓子スウィーツまでのコースを参加者全員堪能しました。

この食事会、私とも職員にとっても保護者の方々と膝を交え、

肉をつつきながらじっくり語り合える貴重な機会でもあります。相互の語り合いの中で、関わりや信頼がより深まる事が喜びでもあります。

いやあ、それにしてもこの日は暑かった。北海道内多くの地点で猛暑日・真夏日を計測し、小平町も今年一番の暑さ。でも利用者の方々は元気です。暑さをもろともせず、お腹一杯になった後はカラオケタイム。しっかりとした演歌もあれば、ポップな曲にダンスも織り交ぜ大盛り上がりもありで、あつという間に閉会の時を迎えました。

ご参加いただいた皆様、暑い中お疲れ様でした。



(森田)

安全な生活環境を整える！ ～防犯カメラの設置～



おにしか更生園では、利用者さんが安全で快適に過ごせるための、環境整備の一環として防犯カメラを設置しました。園舎周辺を確認できるカメラ4ヶ所と監視モニター、約3週間のデータを保存できるレコーダーを国・道の助成を受け導入しました。

防犯カメラによる犯罪抑止効果と、近隣の学校施設や警察、地域住民と連携し、防犯対策の強化に努めています。



(田中)

道北ソフトボール大会

6月、鷹栖町で催

されましたソフトボール大会に、今年も更生園・ほつぷ利用者、計5名で参加してきました。

も高齢となつて来ており、選手として

参加出来る方も減ってきているのが現状です。

しかし、大会の第一試合は接戦の末に5対4で5年ぶりに勝利を掴むことが出来て、皆大喜びでした。



また、この試合では、石井さんが雄叫びと共にホームランがでて…最高の瞬間でした。二試合目は、負けてしまいましたが楽しく二試合が出来た事に意味があると思ひ、帰ってきました。

(加我)

グループホーム建替え

新築の匂いはいいね〜！

昨年12月にグループホーム「ゆらら」「あすか」が引っ越しをしました。今までは昭和の匂いの濃い公営住宅を改修して暮らしていましたが、冬はすきま風対策、夏はわらじ虫退治と季節の風物詩と格闘しながらも、楽しく暮らしていましたが、今回新築され、寒い中ではありましたが、無事引っ越しも終わりが、快適に暮らしています。

床は全てバリアフリーでクッションフロアにして頂いたので、冬でも暖かく、足腰が弱つて来ている人にも優しい設計になっています。

「ゆらら」「あすか」共に比較的年齢の高い方、支援が必要な事が多い方が暮らしていますので、消防設備はもちろんスプリンクラーも設置しています。部屋は、

一人一人の好みの家具や装飾品を飾り部屋作りを世話人さんと一緒に楽しんでいきます。

世話人さんが提供してくれる食事を食べながら、一日あつた事を語り、美味しい食事に舌鼓をうち過ごす時間は、一日の疲れが飛ぶ瞬間です。そして何よりも新築の家の匂いは良いですね。お近くに来た時には遠慮なく寄つて下さい。

(中田)



おんれいはいぜんしゃぞうせつ 温冷配膳車増設



更生園の食堂は、管理棟ともえぎ寮の二カ所にあります。

もえぎ寮の食堂は厨房から離れているため、温冷配膳車を使用し食事提供をしています。5月から管理棟にある食堂にも温冷配膳車を導入しました。

今までも、ヒートシエルフ、電子レンジなどを使用して適温提供に努めていましたが、温冷配膳車の導入により、より一層冷たいおかずは冷たく、温かい料理は温かく、食べて頂く事が出来る様になりました。

今から冷たいスイカが楽しみです。

(大高)

2017 旅行

更生園・あとり・ほっぷ

更生園

ほっぷ
あとり



ほのぼの班①
7月6日、7日に朝里川温泉の温泉付きコテージに宿泊してきました。
1日目は札幌「さくらんど」で馬車や観光の汽車に乗り、小樽で美味しいものを沢山購入のんびりと過ごしました。
6月7月のお誕生日サプライズもあり楽しい時間でした！
(高林)

ほのぼの班②
6月29日、30日に東川にあるキトウシ森林公園に行ってきました。
緑あふれる自然の中でBBQをし利用者の方々が、いつにない満面の笑みで過ごしていました。
天候にも恵まれ、楽しい旅行だったと感じています。
(佐藤浩)

ほのぼの班③
6月9日・10日に富良野ラテールへ宿泊してきました。
1日目は天候に恵まれ昔別の運動公園へ行きサドルを見たり、ホテルでは客室露天風呂へ入り皆さんののんびり過ごしました。
2日目はアンパンマンショップや道の駅で美味しい物を沢山食べ皆さん笑顔で帰園しました☆
(小松)

すくすく班
6月26日に日帰り旅行での少人数、小旅行ということで経堂さん・健司さんと宗谷峠まで行ってきました。出発時は小雨混じりの天気でしたが、お昼頃には晴れてきて、屋食は地元のお寿司を稚内公園で海を眺めながら食べました。
二人とも、最北の地で自然にふれ、日常の時から開放され落ち着いた様子で旅行を楽しんでおられたようでした。
(佐藤浩)

ほっぷ 1泊・日帰り
先陣は宿泊組！朝から皆さんハイテンション☆旭川ヒューマンサービスセンターでの施設見学から始まり、ラウンドワンでボーリングやカラオケを時間一杯まで楽しんでる様子でした。
夕食は鷹栖町にある伝承館で素敵なコース料理に胃袋も心も満たされ、ご満悦♪
日帰り旅行は西イオンでの買物に始まり、ラウンドワンで遊んだ後は、深川のあぐり工房を見学し、温泉で日頃の疲れを癒して今年の旅行は無事に終わりました。
これからも旅行に行つて素敵な思い出を作つていければいいな、そう思う今日この頃です。
(伊藤哲)



あとり 1泊旅行
定山溪に一泊二日で旅行に行つてきました！
宿泊地はビューホテル！14階にある大浴場で絶好のロケーションを楽しみながら、さっぱりと入浴。そのあとは豪華な料理を囲んでの宴会がスタート！短すぎる丸田施設長からの挨拶や鬼鹿の北島三郎こと佐藤雄治さんが、ここぞとばかりに、5曲ほど熱唱され、観客の皆さんは歌に酔いしていました。(カラオケセットはありませんでした 笑)
二日目は前回、天候が悪く乗船できなかった小樽の遊覧船に乗り優雅な海上クルーズ！外海はやはり波があり、少々船がゆれてこわい感じはありましたが、船酔いする方もいなく皆さん楽しんでいました。
(太田)



園内研修 おにしか更生園

「グループワーク形式による事例検討」
講師：福嶋 匡洋 氏

羽幌町福祉課保健係 臨床心理士

○事例検討を取り入れた経緯

暴言や他害行為、また特定の利用者・職員への過度な関わり等における個別の背景を心理的側面から探ることと、それをまた心理的な部分で支える為の技術を学ぶ機会として実施する。

○職員の共通認識と同一支援

平成28年7月より、臨床心理士 福嶋氏の協力のもと、専門的観点から利用者の特性を踏まえたアプローチと考察の行方をグループで学習していく事となった。

○事例検討は計3回実施

①事例の見立てと支援方針
対象者の特性、生育歴を加味した中で「特異行動」について確認。

②第1回目に基づく支援の開始と実情における課題。「事例の見立てと支援方針」に基づき、「支援の開始と実情における現状課題」をピックアップする。

③今後のよりよい支援に向けて「本人のアセスメント」「支援方針」「実際の支援」について検討。次のステップとしてどんなことが考えられるか。また、その実現のために、担当者・ユニット職員・組織としてどのような取り組みが必要か各グループで検討。

○この研修を通じて、職員全体で共通認識を図ることができ、多角的な視点の構築が出来たとも思っている。
今後、計画的で段階的な研修を取り入れていきたい。
(松原)



園内研修 —ほっぶ すてっぶ—

毎年、人権に対する意識の高揚や支援の見直しを兼ねて「人権侵害ゼロへの誓い」を職員全員が再確認した上で署名・捺印をし、玄関に掲げています。

昨年、虐待のニュースや津久井やまゆり園の元職員による残虐な事件が報道されとても残念な思いでした。

施設を利用される方は、十人十色でその一人一人の個性を尊重し、支援していくのが我々の仕事の基本です。

職員も同じく十人十色で価値観や考え方も違いますが、福祉のプロとして支援の視点は一緒でなければいけないと思います。

そんな想いもあり園内研修で、利用者本位のサービスを担

う支援者として何をなすべきかという観点の中から「職員行動規範」を再度、ほっぶすてっぶの職員全員で読合せをし、支援の基本を再確認しました。



行動規範を再確認すること
で、自分の支援の見直しが出来、身が引締まる思いでした。
個別ケースの研修では、支援者によってサービスの質が異なることの責任を思い知らされます。地域性を問題として逃げず、ここから出来る最大限の努力を惜しまず、支援の迫及をしていきたいと思えますし、その一人一人の取り組みが、チーム内、組織内に良いものとなればと考えます。
(秋山)

あたら
新
しい
顔
かお

2名の利用者さんと6名の職員が
あたらしく仲間入りしましたので
ご紹介いたします。

○橋村 なつみさん

○おにしか更生園
素敵な笑顔で
皆さんの人気者です！



○小林 優斗さん

○ほっぴすてっぴげんき
手先が器用で
パン作り期待のホープ！



○近藤 考幸

○おにしか更生園
福祉の現場でのお仕事
は初めてですが、多くのこ
とを先輩職員に教わり、
ゆつくりと利用者さんと
の関係を築いていければ
と思います。

○佐藤 顕慈

○おにしか更生園
前職では人のお役に
立ちたいと思い老人介護
をしていました。
今後、日々精進し、
皆様方のお役に立てるよ
う精一杯がんばります。

○吉田 真美

○あたり
以前は病院、特者
にて介護員として
働いていました。
ご迷惑やご不便を
かけることもあると
思います。少しで
も早く仕事を覚えたい
と思います。



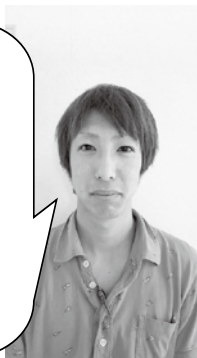
○槻 千尋

○おにしか更生園
慣れない事も多いで
すが、皆さんと一緒に
楽しい時間を過ごしま
がら、早く仕事を覚え
れるように頑張ります。



○瀬川 祐示

○おにしか更生園
まだまだ覚える事が
沢山ありますが、元気に
明るく頑張っていこうと
思いますのでよろしくお
願いします。



○安田 夏子

○おにしか更生園
皆さんが心地よく
過ごせるようにお
手伝いを行ってい
きたいです。
至らぬ点もあり
ますがよろしくお
願いします。



○野原 唯
「更生園」から「あたり」
へ異動しました！



ひらた きぬこ さま まん(まい) さい
 平田 絹子 様 (満 74 歳)
 えいみん
 永眠いたしました
 こうせいえん かいせつ
 おにしか 更生園が開設
 しょうわ ねん がつ にゅういん
 した 昭和 59 年 4 月、入院
 だんなさま はな
 されている 旦那様と離れて

報 告

41 歳でここ鬼鹿に來られました。
 たいびょう わずら
 大病を患うこともなく、グループホームで暮しておりました
 とし ま せ わ いただ こと おお
 だが、年を増すごとに病院のお世話を受く事が多くなり、
 たび さい だんなさま ま てんごく たびだ
 この度 74 歳にて、旦那様の待つ天国へと旅立たれました。
 こころ ごめいふく いの もうしあ
 心より御冥福をお祈り申し上げます。

◆知恵の輪◆

弱者の人権を守る

LGBTを知ろう!

♥LGBTとは

L・・・レズビアン

G・・・ゲイ

B・・・バイセクシュアル

T・・・トランスジェンダー

順番に、女性に惹かれる女性、男性に惹かれる男性、両性に惹かれる人、体の性別と脳の性別が違う人、という意味です。

LGBTは「セクシュアルマイノリティ」(性的少数者)という意味として、当事者自身がポジティブ(肯定的・積極的)に発信する言葉として欧米で始められた言葉です。

♥LGBTの割合・課題

国内の調査では、日本では「ストレート」と呼ばれる異性愛者は人口の約92%で、約8%(約1千万人)※但し5%の調査も有(性的マイノリティであると言われている)です。

日本では、法的補償が存在しない為、同性カップルが部屋(家)を借りることが難しかったり、パートナーが入院した際に病院での面会を拒否される可能性があるが

す。また、企業でも理解が進んでおらず、職場での働きにくさを感じたり、自己セクシュアルマイノリティだと公言するだけでも、認識や理解の低さから誤解や偏見につながるという難しさを感じているのが実態です。

♥LGBTの支援

各地でLGBTを支援する団体が出来てきましたし、自助グループと呼ばれる当事者同士の集まりもあり、各地イベントも開催されています。

行政による支援は、発展途上ですが、東京渋谷区と世田谷区では同性パートナーを公的に認定したり、大阪市淀川区では、『LGBT支援宣言』を発表し、当事者との意見交換会、相談、啓発イベントなど積極的に取り組んでいる所もあります。

ちなみに北海道では、NPO法人の団体に講演会や勉強会、北大内に

非公認サークルとして活動している団体なども出てきています。そのような協力者・支援者をアライ(ALLY)と呼びます。

編集後記

▼どこかの首相が言っていた「丁寧な説明」に本当!と思わず口をついてしまう。少なくとも、私は「丁寧な文章」を心掛けた。

▼気づけば、今年も半年以上が過ぎていました。「記憶にございません。」そんな一年にならないように、残り半年も記憶に残る時間を作っていきます!

▼「車高の低さはセンスの高さ」と信じて免許取得から車高短の車乗り続けていましたが、腰痛の悪化とともに引退しました。僕の青春よさらば。

▼機関紙編集担当、今年で3年目ですが、初めて女性が二人…となり、親近感がとても湧いています♡20代後半となり、嫁に行かないと機関紙担当からは、離れられないかも…笑

(加我)